

の御健康を祈ります。

◎宮崎より

長谷川清子

そりたつ杉のむら立をこめて、匂ひやかな  
細き雨、あたかく降りて候。こゝ南の國に、  
さすらひの子は、これをしも悲しげ見つゝ、そ  
ぞろかいやりし歌反故の中より、いさゝかを、  
ものしまるらせ候。

灰ふる國

埋もれて化石となりし後の世のわが面ざしの清  
かれと思ふ。  
火もふれや天地こがせや大神のあらびはかくと  
世に知らすべく。  
このまゝに逝かば得なまし美しき名を死ぬまで  
清き處女なりしへ。  
静けさをたい静けさを願ひ居り夜を日をこめて  
灰ふる國に。  
灰ふりぬ風ふきぬその二日して晴れたるみ空な  
つかしきかな。

そり來て

遙にも我は來しかなおのゝきどよろこび心ど  
たつをもちて。

そり來てふと見いでたりりんどうの紫なるが  
いとや悲しき。  
あるときは母をおもひて父こひてはかなくより  
ぬコスモスのかげ。

みぞり葉の中より空をすかしみて小鳥のごとも  
よろこびしかな。  
浪あらき日向の濱にわが名してきゆるを見つゝ  
またもかきしか。

空もよし氣よし水よし草木よし日向の秋のこ  
ろよさかな。  
すみとほる日向の空を野邊にして仰げは心きよ  
くもあるかな。  
うきめみしその度毎になげかじとためし涙のお  
きごろなき。  
悲しみの涙見せんを耻としきあまりに強き我心  
かな。

◎水戸より

竹尾惠子

音楽室よりひゞく卒業式のうたにふと二年昔  
の此頃思ひ出で、母校出身の人と「やきませ」  
を口すさみ候ひしは昨日の午前に候ひき。あ  
の歌に送られてより早や二年をこの地に過し申  
し候。私は何の變りも御座なく強いて言へば一  
日／＼と退歩いたすのみに御座候。たゞ元氣よ  
く日々學校に参るをたのしみといたし居り候ま  
ゝ御安心下され度候。會誌を拜見いたす毎々御  
在校の方々の御めざましき御進歩のさまを伺ひ  
たゞ／＼御めでたく又御羨ましく存居り候。あ  
の頃二年生にていらせられし方々の早や御卒業  
と伺ふにつけ二年間何して過し候ひしやらんと  
そぞろ我身のかへりみられ生徒に對し學校に對  
し申譯なき感のみ致し候。こゝも關東平野と連  
る一部份氣候なども東京と大差は之なく候へど  
も二月頃より三月末まで身を切る如き筑波下し  
の吹きすさぶには閉口致し。候日本三公園の一  
と云はるゝ常磐公園の梅はいま盛りにて日曜日